

前田恭兵文庫のこと

平成27年4月21日、本校51期生の前田恭兵さんが亡くなられました。昨年、前田さんの御家族から「在校生の皆さんへ」と図書カードを頂きました。頂いた図書カードで購入した本は「前田恭兵文庫」として、多くの皆さんに利用されています。そして今年の3月、前田さんの御家族が来校された際に「文庫の充実」と、新たに図書カードの御寄贈があり、8冊の本が文庫に加わりました。本校の貴重な蔵書として、後輩たちにも読み継いでいきたい大切な文庫となりました。

*前田恭兵文庫全一覧

- ・『オシム終わりなき闘い』木村元彦 著 NHK出版 ……オシムは「監督」としても「人」としても一流です。
- ・『一流の逆境力』遠藤友則 著 SBクリエイティ ……スポーツをする全ての人に読んでほしい本です。
- ・『変えていく勇気』遠藤保仁 著 文藝春秋 ……日本のサッカーを牽引する遠藤保仁のエッセイ。すごいです！
- ・『塩の街』有川浩 著 メディアワークス ……この物語を読めば、きっと有川ファンになります！
- ・『仙台ぐらし』伊坂幸太郎 著 集英社 ……東日本大震災後も仙台で暮らす伊坂氏からのメッセージ
- ・『跳びはねる思考』東田直樹 著 イースト・プレス ……会話ができない自閉症の作者・東田さんの伝えたいこと。
- ・『一曲処方します。』沢木棲 著 TOブックス ……悩める患者の心を音楽で癒やす心療内科医の物語。
- ・『ヒポクラテスの誓い』中山七里 著 祥伝社 ……研修医が主人公の医療推理小説。
- ・『真実の10メートル手前』米澤穂信 著 東京創元社 ……主人公はジャーナリスト・大刀洗万智。米澤ワールド全開！
- ・『象は忘れない』柳広司 著 文藝春秋 ……震災後の“フクシマ”を舞台にした再生の物語。
- ・『閃きを信じて』川崎宗則 著 ぴあ ……日々進化する川崎宗則。上達の喜びを力に変える秘訣が書かれています。
- ・『アンと青春』坂木司 著 光文社 ……『和菓子のアン』の続編。「みつ屋」のみんなに、また会えますよ！
- ・『掟上今日子の備忘録』西尾維新 著 講談社 ……人気作家・西尾維新の探偵物語。
- ・『サブマリン』伊坂幸太郎 著 講談社 ……家裁調査官と少年たちの出会いを描いた小説。『チルドレン』の続編。
- ・『大江戸科学捜査 八丁堀のおゆう』山本巧次 著 宝島社 ……現代の科学捜査で江戸の事件の真相に迫る！
- ・『ひかりの剣』海棠尊 著 文藝春秋 ……大学医学部剣道部を舞台にした青春群像劇。



ブックレットを読んでみよう！

2016年1月16日、センター試験・国語の第一問『キャラ化する／される子どもたち』（土井隆義 著）は、岩波ブックレットからの出題でした。「ブックレット」をご存じですか？ブックレットとは50～60ページほどの小冊子のことです。知りたいことがピンポイントでわかります。それぞれの分野の専門家によるわかりやすい解説は、高校生にも十分理解できます。まさしく手軽に読める専門書と言えるでしょう。

『キャラ化する／される子どもたち』の帯を紹介しましょう。“複雑に絡みあう人間関係を生き抜くための戦略——それが「キャラ」とあります。わずか63ページのこの本の中には、現代人が抱える光と影がぎゅっと凝縮されています。身近な問題ですので、興味深く読めるはず。センター試験後「読みやすい評論文」だったという声も聞きました。“わかる、使える〈はじめの1冊〉”というキャッチフレーズどおり、ブックレットはわかりやすい専門書です。

岩波ブックレットの刊行のことに「…今、われわれは「出版」を業とする立場に立つて、今日の課題に対処し「活字」が持つ力の原点に立ちかえって、この小冊子のシリーズ「岩波ブックレット」を刊行します…」とあります。活字による正確な情報収集としての「はじめの1冊」となることを出版社は願っているようです。この「はじめの1冊」が皆さんの好奇心を刺激し、将来を決めることになる可能性もあります。ペラペラの小冊子…などと侮ることなく、丁寧に読むことをお勧めします。活字で得た情報は、きちんと頭の中に整理されていくはず。知る喜び、考える喜びを味わってみませんか！

*参考文献：『キャラ化する／される子どもたち』土井 隆義 著（岩波書店）



4・5月の貸出統計

～心に残る本と出会えましたか？～

4月の貸出統計 652冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	38	68	58	66	73	75	26	64	0	6	0	8	7	11	10	15	7	12	11	1	42	13	7	34
合計	468冊								57冊								127冊							

5月の貸出統計 225冊

学年	1年								2年								3年							
	組	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
貸出数	7	0	9	10	10	10	7	10	2	7	0	2	4	14	6	14	17	12	10	2	32	12	3	25
合計	63冊								49冊								113冊							

図書館オリエンテーションを実施した4月は、1年生のほとんどが本を借りたため652冊という驚異の貸出冊数を記録しました。ところが5月・・・1年生リピーターはほとんどいないという寂しい結果となりました。

今年度の貸出の特徴は3年生の貸出が非常に安定しているということです。そして、その貸出の8割が小論文対策の本です。すでに将来を見据えた読書がスタートしているようです。今年度末には図書館の移転も計画されています。書籍の箱入れ作業も始まりました。小論文に関する書籍は、移転ぎりぎりまで利用できるように作業を進めていく予定です。それでも小論文対策は早めのスタートを勧めます。夏休みまでに1冊、夏休みに2～3冊。少しずつの積み重ねが大きな力となるはずですよ。1・2年生の皆さんは楽しい読書を、3年生の皆さんは明日に繋がる読書を始めましょう！

鹿兒島中央高校の皆さん、私 太幸の本も読んでみてください。
はっとする言葉に出会えるかもしれませんよ・・・。



桜桃忌

6月19日は太幸治の忌日でした。この日は太幸の作品『桜桃』にちなんで「桜桃忌」と名付けられており、今でも多くのファンが三鷹にある禅林寺の墓前でお参りをしているそうです。昨年芥川賞を受賞した又吉直樹さんは、大の太幸ファンで有名です。逆に太幸は苦手という人も大勢います。好き嫌いがはっきり分かれる作家のひとりかもしれません。『走れメロス』から『人間失格』まで、様々な作品を世に送り出した太幸治の作品を読んでみませんか！

マナー向上!! 連日、満員御礼の図書館です。昼休みにも30名ほどの3年生が自習に利用しています。私語はありません。何より「たいせつ」が流れると同時に速やかに掃除場所へと移動が始まります。消しかすもきちんとちり箱に捨ててありますし、椅子もきちんと机に入れてあります。気持ちの良い利用マナーは、きっと合格へと繋がっていくことでしょう。

編集後記

今、図書委員会は文化祭の準備で忙しい日々を過ごしています。今年は新しい試みとして「図書委員によるブックトーク」にチャレンジします。普段は物静かな(?)図書委員が多いので、パンチのあるブックトークはできないかもしれませんが、一生懸命チャレンジします。多くの皆さんのご来場(1年6組の教室が会場です)をお待ちしています。クラスや文化系部活動の発表の場である文化祭が大成功するように、がんばりましょう。

文化祭が終わったら、また読書三昧の日々が戻ってきますように！

(図書委員一同)